

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

国家試験に向けた取り組み

OB MESSAGE

通信教育部社会福祉学科卒業生 島山 卓

はじめに

1年生から入学し6年間の学生生活を過ごし、今年の春に社会福祉学科を卒業、社会福祉士の資格を取得することができました。社会福祉に関する知識や経験が全くない中で学生生活をスタートし、一時は勉強から完全に離れた時期もありました。そんな私の経験が、何か一つでも在校生の皆様の参考になれば幸いです。

学習への取り組み

入学後2年くらいは、スクーリングを受講し、その後にレポートを書いて提出するという流れで学習に取り組みました。スクーリングの学びを活かすために、1つのレポートはスクーリング受講後の1週間以内を書いて提出することを意識して取り組みました。

途中1年半ほど仕事が忙しくなり、ほとんど勉強できない時期がありました。仕事が落ち着いてきた時に、状況整理として卒業と国試を見据えた計画を立てました。自分の性格的に、レポート作成と国試の勉強を並行して行うことは難しいと考え、最終学年の夏までには、ほとんどのレポートの作成が終わられるように逆算して計画を立てました。計画通り進まないことも考えられたので、計画の後半に多少の余裕を持たせておきました。仕事の状況を見て有給休暇をとり、レポートに取り組むこともしました。また地元の図書館で参考文献が見つからないときには、週末を利用して学校の図書館を利用したこともありました。国試対策の勉強時間の確保に向け

て、設定したレポートの提出期限を守ることを心がけました。

国家試験に向けた取り組み

国試対策の勉強は最終学年の8月から過去問を解くことを始めました。使用したテキストは、中央法規出版の「過去問解説集」「ワークブック（共通科目）」「ワークブック（専門科目）」「国試ナビ」「模擬問題集」になります。大学の国試対策の模擬小テストや対策講義の受講もしました。

私の11月初めは学内実習を終え、実習に関する課題を提出した頃で、実習期間中は実習に専念したため、国試に向けた勉強は11月になってから再スタートさせました。11月の初めには日本ソーシャルワーカー教育学校連盟の全国統一模擬試験を受けました。模試を受けることで受験者全体の中で自分の順位や、各問題の正解率がわかり、自分の特性を知ることができました。模試の結果は、その後の勉強の配分を考える参考にしました。ちなみに、模試では0点の科目が2つありました。

11月以降の勉強方法は過去問や予想問題を解くことに重点を置きました。問題を解くときは、正解だけを確認するのではなく、誤っている選択肢はどこが違うのか、というところまで確認をしました。問題を解く中で何回も間違えるところは、国試ナビの該当ページに直接書き込む、書き込んだ付箋を貼るなどして覚えるようにしました。国試対策としてノートを作ることはしなかったのですが、苦手な一科目については項目を絞る形でノートを作成し理解を図りました。

隙間時間では、「過去問.com」というサイトで過去5年分の問題を解き問題に慣れるようにしました。「過去問.com」では解答の解説において制度の変更が反映されていないところもあったため、私は問題に慣れるためと割り切って使いました。問題に慣れてくると選択肢の文章を読むだけである程度答えを絞ることができるようになりました。まとまった勉強時間

の確保が難しい方や隙間時間を有効に使いたい方は、アプリを活用するのもよいかと思います。

体験と反省

最終学年の冬に受講を予定していたスクーリングが、新型コロナウイルスの影響で日程が先延ばしになり、卒業判定日に間に合わない事態になりました。12月の時点で慌ててレポートを書き、科目修了試験を申し込んだことを覚えています。この時は、一人で慌ててしまったのですが、今思うと学校に相談しながら進めればよかったと反省しています。

国試対策では、国試の1週間くらい前に「これまでの勉強の方法で大丈夫なのだろうか」と不安になり、勉強の手が止まりかけました。この時は、この状態で勉強しても仕方がないと、思い切って勉強を1日休みました。YouTubeにてテキストの発行元が配信している国試直前対策講座を見ることで勉強のポイントを整理し、気持ちを切り替えることで、その後の勉強に取り組むことができました。

最後に

私は今年の4月からスクールソーシャルワーカーの仕事と若者の居場所づくりの仕事にかかわっており、その中で目の前のことから学ぶ姿勢の大切さを感じています。これも大学での学びが現在の考え方や行動の基礎になっているからだと感じています。

在校生の皆様には新型コロナウイルスの影響で、スクーリングがオンデマンド中心になったり実習が学内実習になったりと勉強できる場所が限定され、より孤独を感じながらの勉強が続いていることだと思います。このような状況だからこそ、自分に合った勉強方法を見つけることが

モチベーションを保つことにつながると思います。国家試験に臨まれる皆様につきましても、日々の勉強に加え体調管理にも気を付けていただければと思います。皆様のご健闘をお祈りしております。

